

ふか みきゆうさくしやうとくひ

⑦ 深見休作頌徳碑

昭和24年（1949）2月垂水漁業協同組合が設立され、初代組合長に就任。戦後の海潟の漁業の近代化に尽力しました。

【昭和33年（1968）9月6日建設。垂水市漁業協同組合入り口付近】



く げいし

⑧ 公卿石

文禄3年（1594）、^{ぶんろく}公家の近衛信輔（後の^{くげ この}関白信尹）が後陽成天皇の怒りに触れ、薩摩国坊津へ流される途中、海潟の地に10日間滞在しました。その時に腰かけて弁天島（今の江ノ島）を眺めたと伝えられています。

【松岳寺跡石碑の横、垂水市漁協の南】



さくらじましようぼうとう

⑨ 櫻嶋焼亡塔

安永8年（1779）9月30日桜島が大噴火し、多くの人々が死傷しました。その焼死した人々の霊を、海潟の浜辺で弔いました。約2年後、当時この地にあった松岳寺境内（現在は和光保育園になっています。）にこの碑を建てたものです。垂水島津家の家臣、伊地知季虔が著した「櫻嶋燃記」とともに、噴火災害のありさまを伝える重要な記念碑です。【菅原神社本殿西側】

